

■ カルマの付け替え

他人のカルマ消しに繋がる状況に介入する事は、その者を本当の幸せへと導く『神』のプログラムを邪魔する行為になるので、他人の悪いカルマを自分が背負う事になります。

5 『神』の常識は、人間界の常識とは全く違うのです。

『神』仕組みのお邪魔になる事

- 特に男性の持つ人間社会の“正義感”は、新たな騒動と余計なカルマを発生させます。
- 10 ● 特に女性の持つ間違っただ母性愛”は、『神』の御計画を邪魔する行為に繋がります。
- 今まで学んできた“知識の自信”は、自分の視野を狭くしてしまいます。
- 今までの“実績のプライド”は、自ら大事なことを遠ざけてしまいます。
- “我”を押し通す事は、『神』の御心が届かなくなり、自壊に繋がります。

15

【人間社会の正義感】

- ・ 相手を救えないばかりか、自分が苦しむことになります。
- 20 ・ 相手からの依頼が無い状態で救命活動を行ってしまうと、大きな金銭的禊を受けること
になります。
また、依頼があっても救命活動を行ったとしても、相手に“そういう目に遭わなければならない理由”つまり、『真理』を説明しなければ、相手の悪いカルマを貰うことになり、
金銭的に苦しむことになります。

25

★ 命を落とさなければ清算できないカルマということなので、それだけ大きいカルマを貰うことになります。

30 【間違っただ母性愛】

- ・ 子供を可愛さの余り溺愛して甘やかすことや、力や能力の弱い人を無条件にかばうという
ことは、その者に必要な学習する機会を奪うので“愛”ではなく“虐待”になります。
この事は神霊界にも深く関わっています。

35

※ 関連《66P》【女性の御神霊が犯した罪】

- ・ 子供は、自分が痛い思いをすることで他人への痛みも理解して、また、嫌な思いをすることで他人の心の痛みも理解できるようになるのですから、痛い思いをしないように過剰
40 に保護するという事は、“人”として必要な勉強の機会を奪う事になります。
痛い思いをしないで育った子供は、他人に危害を与えるようになります。

- 親は子供を一人前に教育する役目があります。 《教育 指導 躰しつけ》
可愛いから、又は、忙しいからといって、子供の身の回りのことを両親や祖父母がしてしまうと、日常生活における基本的な力が身につきません。

5 その為、学校に行った時や、社会に出た時に、脱ぎ着が遅い、片付けが出来ない等、他の人と比べて自分はどこか劣っているという劣等感を感じ、いじめられる訳ではないのに、学校や職場に行きたくなくなり、不登校や引きこもりと呼ばれる状態になることもあります。

10 また、親が必要以上に子供に干渉すると、子供に自由が無くなるため、子供は親を嫌うようになります。

過干渉によって適切な判断能力が十分に身につかないと、場合によっては、子供は親や他人に危害を加えるようになります。



15 同性の兄弟姉妹がいない場合は、家庭内で競争を経験する機会がほとんどないため、どうしても軋轢あつれきに弱くなる傾向があります。

- カルマ消しを邪魔する行為や、子供の発育を邪魔する行為は、間違った愛です。

20

子供を一人前に教育出来なかったと感じた時には

成長した子供に対して注意をしても、なかなか聞き入れません。

25 その時は、まだ小さかった頃の子供が目の前にいると思って、その子供に語りかけましょう。

空想するしっようなイメージで、その子が小さい時から成長するまで、躰あつれきけるようにしましょう。

30 例えば、お風呂に入って体を洗うのはこうするんだよ、お片付けはこうするんだよ、今日はこんな事をして遊ぼう等、子供に対してやり直したいことをイメージして語りかけましょう。



そうすると、それが子供の魂に響いて、だんだん子供が変わっていきます。